

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月7日

上場会社名 株式会社 パイオラックス

上場取引所 東

コード番号 5988 URL <http://www.piolax.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 亨 TEL 045-731-1211

四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	16,495	5.7	2,625	6.8	2,805	4.8	2,080	8.0
29年3月期第1四半期	15,609	1.8	2,458	19.0	2,677	16.9	1,926	20.6

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,377百万円 (-%) 29年3月期第1四半期 Δ155百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	58.09	-
29年3月期第1四半期	53.80	-

(注) 平成29年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	92,803	80,122	84.9
29年3月期	92,668	79,424	84.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 78,829百万円 29年3月期 78,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	40.00	-	60.00	100.00
30年3月期	-	-	-	-	-
30年3月期(予想)	-	17.00	-	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。平成29年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	31,500	△0.0	4,700	△4.1	5,100	△4.0	3,500	△7.9	97.72
通期	63,200	△1.7	9,500	△8.5	10,200	△10.8	6,900	△13.8	192.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	39,254,100株	29年3月期	39,254,100株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	3,439,279株	29年3月期	3,439,242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	35,814,849株	29年3月期1Q	35,815,026株

（注）平成29年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(参考資料)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和等により個人消費、雇用情勢が底堅く推移し、景気は全体として緩やかな回復基調にあるものの、米国の政権運営や新興国経済の減速懸念、またアジアにおける地政学リスクの高まり等を背景に、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、海外では米国や中国を中心に好調を維持しており、また国内でも円安基調の持続により輸出が好調だったこと等により、国内生産台数は2,301千台と前年同期比9.3%の増加となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルに拡販活動を継続的に推進いたしました結果、売上高は16,495百万円と、前期比886百万円(5.7%)の増収となりました。

一方利益面におきましては、増収効果に加え、より一層の合理化を推進いたしました結果、営業利益は2,625百万円(前期比6.8%増)、経常利益は2,805百万円(前期比4.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,080百万円(前期比8.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(自動車関連等)

米国をはじめ新興国市場等にグローバル拡販を積極的に推進した結果、売上高は15,620百万円(前期比6.2%増)となりました。一方利益面においては、収益改善活動をグループ一丸となって推進した結果、営業利益は2,841百万円(前期比5.3%増)となりました。

(医療機器)

拡販を積極的に推進いたしましたが、売上高は875百万円(前期比2.7%減)となりました。一方利益面においては、主に合理化等による経費節減効果により、営業利益は△4百万円(前期は49百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産合計は、現金及び預金、投資有価証券の増加等により134百万円増加し、92,803百万円となりました。

負債合計は、未払法人税等の減少等により563百万円減少し、12,681百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加等により698百万円増加し、80,122百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」で公表した数値から変更しておりません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,474	25,920
受取手形及び売掛金	14,172	13,674
電子記録債権	1,610	1,679
商品及び製品	4,119	4,166
仕掛品	1,359	1,411
原材料及び貯蔵品	1,701	1,664
その他	2,240	2,397
貸倒引当金	△13	△21
流動資産合計	50,664	50,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,212	8,012
機械装置及び運搬具(純額)	7,864	7,586
工具、器具及び備品(純額)	2,272	2,244
土地	5,143	5,149
リース資産(純額)	38	38
建設仮勘定	1,020	1,195
有形固定資産合計	24,552	24,226
無形固定資産		
のれん	2	1
その他	961	985
無形固定資産合計	963	986
投資その他の資産		
投資有価証券	14,967	15,138
その他	1,521	1,558
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	16,488	16,696
固定資産合計	42,003	41,910
資産合計	92,668	92,803

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,434	3,178
短期借入金	423	407
未払法人税等	1,269	677
引当金	851	427
その他	3,724	4,299
流動負債合計	9,702	8,990
固定負債		
退職給付に係る負債	149	161
資産除去債務	18	18
その他	3,373	3,510
固定負債合計	3,541	3,690
負債合計	13,244	12,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,697	2,697
利益剰余金	73,182	74,546
自己株式	△2,838	△2,838
株主資本合計	76,003	77,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,701	1,686
為替換算調整勘定	839	123
退職給付に係る調整累計額	△363	△348
その他の包括利益累計額合計	2,177	1,462
非支配株主持分	1,243	1,293
純資産合計	79,424	80,122
負債純資産合計	92,668	92,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	15,609	16,495
売上原価	10,736	11,343
売上総利益	4,872	5,152
販売費及び一般管理費	2,413	2,527
営業利益	2,458	2,625
営業外収益		
受取利息	14	16
受取配当金	30	31
持分法による投資利益	179	248
その他	76	40
営業外収益合計	301	337
営業外費用		
支払利息	6	3
デリバティブ評価損	—	50
為替差損	70	84
固定資産廃棄損	0	8
賃貸収入原価	1	1
その他	2	9
営業外費用合計	82	157
経常利益	2,677	2,805
税金等調整前四半期純利益	2,677	2,805
法人税等	727	694
四半期純利益	1,950	2,111
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,926	2,080

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	1,950	2,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△270	18
為替換算調整勘定	△1,645	△683
持分法適用会社に対する持分相当額	△189	△68
その他の包括利益合計	△2,105	△733
四半期包括利益	△155	1,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△121	1,365
非支配株主に係る四半期包括利益	△34	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	14,708	900	15,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,708	900	15,609
セグメント利益又は損失 (△)	2,697	△49	2,647

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,647
全社費用(注)	△200
セグメント間取引消去	14
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業利益	2,458

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	15,620	875	16,495
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	15,620	875	16,495
セグメント利益又は損失 (△)	2,841	△4	2,837

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,837
全社費用(注)	△220
セグメント間取引消去	11
その他の調整額	△2
四半期連結損益計算書の営業利益	2,625

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	7,176	3,456	3,912	1,063	15,609	—	15,609
(2)セグメント間の内部売上高	1,270	16	457	14	1,759	△1,759	—
計	8,447	3,473	4,369	1,078	17,369	△1,759	15,609
営業利益	1,154	577	584	180	2,497	△38	2,458

II 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	7,463	3,578	4,402	1,050	16,495	—	16,495
(2)セグメント間の内部売上高	1,390	46	406	20	1,864	△1,864	—
計	8,854	3,625	4,809	1,071	18,360	△1,864	16,495
営業利益	1,234	574	702	179	2,691	△66	2,625